

守山正樹(福岡大学医学部公衆衛生学教室)

生活習慣と心の持ち方に関連して、

自分自身(セルフ)や周囲の人々(ピア)から学び続ける学習者(セルフ/ピア ラーナー) を目指して(小中学生版) 自分自身(セルフ)や周囲の人々(ピア)を支えられる援助者(セルフ/ピア サポーター)

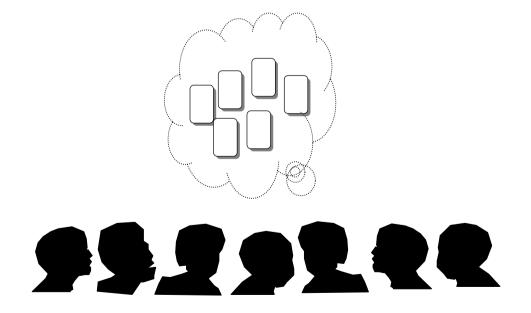
生活マップ

生活習慣の実際に気づき、生活と心のあり方を学ぶ

2002/09/02

Version 1.0

守山正樹(福岡大学医学部公衆衛生学教室)



はじめに

この冊子は、子どもたちに生活習慣と心の健康について、関心を持ってもらい、考え始めてもらうことを、目的としています。考えるといっても、教科書を読んで考えるというよりは、自ら実際の生活の中から学び考えることを、めざしています。

私たちの生活が、多くの人々に支えられていることを大切にするのであれば、一人で考えるだけでなく、友だちや周囲に学び、人と人とのつながりの中で、考えていく必要があります。

この冊子で考え始めるきっかけを作るのは、二次元イメージ展開法¹、および手書き顔グラフ法²という「イメージを目に見える形にする方法」です。いったん生活習慣や心の持ち方が目に見えるものになったあと、そこから生活習慣の意味を考え始める際には、現在進行中である我が国の国民的ヘルスプロモーション運動である「健康日本 2 1 計画」の総論 / 参考 2 (6 2 ページ)に示されている「働きかけない働きかけ方」を採用しました。

この冊子では、特定の生活習慣について「それが正しいか / 正しくないか」には、ふれていません。「自分で考え、周囲と対話する中から、子どもたち自身が、何が正しく、何が正しくないかを、見出すはずである」というのが、この冊子の基本方針です。

- 1;守山正樹、松原伸一:食のイメージ・マッピングによる栄養教育場面での思考と対話の支援、栄養学雑誌、1996; 54(1):47-57.
- 2;守山正樹、松原伸一:対話からの地域保健活動-健康教育情報学の試み、篠原出版、1991.

目次

は	じめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
1	生活習慣を感じ考え始めるには・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2	生活マップの作り方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
3	生活マップの見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	19
4	生活マップを使って、話し考えることを身につけよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	25
5	いい生活習慣って何だろうか。対話の中で考え続け、学び続ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	31
6	おわりに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	35

1 生活習慣を感じ 考え始めるには



1-1.生活習慣って何だ?

生活習慣って、何だろうか。

日々の生活の中で、よくして いること、気づかなくても身に ついていること、それが生活習 慣だ。

自分でよく気づいてもいな いことは、考えられない。

生活習慣について考えるためには、それをはっきりした形にする必要がある。

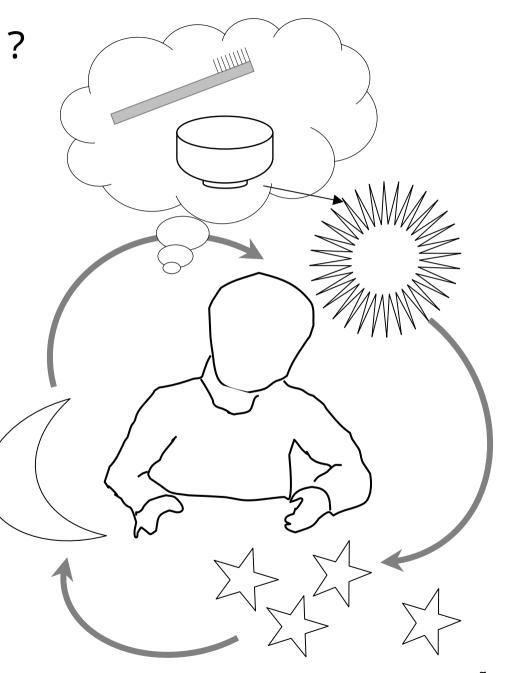


1-2. 主な生活習慣とは?

朝起きて、歯を磨くところから始まって、夜「お休みなさい」をいうまで、生活習慣にはいろいるなものがある。

生活習慣を全部一度に考えるのは難しいけど、主なものいくつかなら、考えられる。

あなたの場合は、どうだろう か?



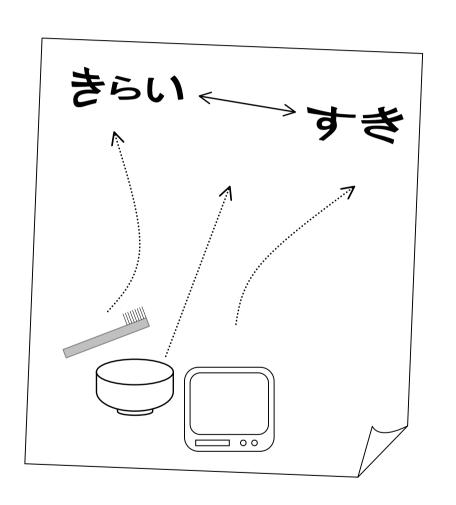
1-3.生活習慣を目に見える形にする

主な生活習慣がわかったら、今 度はそれをもとに、考えてみよう。

紙の上で考えると考えやすい。

生活習慣の中で、好き / きらい、 があるだろうか。毎日しているも のは、どれだろうか。

あまりしていないことも、ある だろうか。

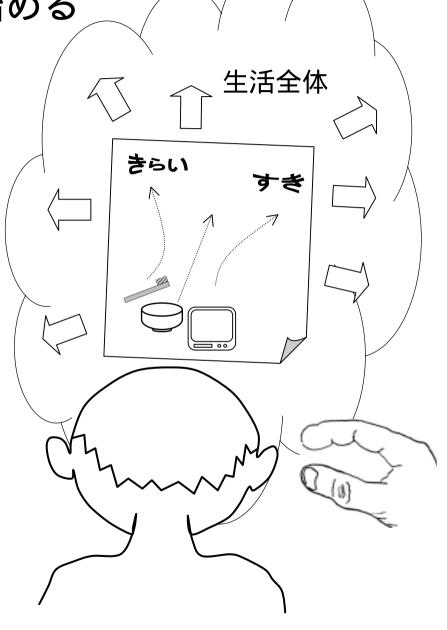


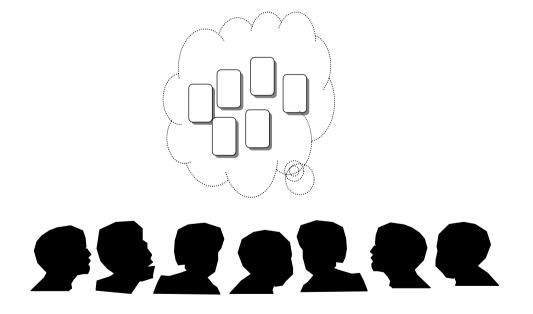
1-4. 生活マップから考え始める

自分の主な生活習慣を表した生活マップは、似顔絵のようなものだ。

顔を鏡で見るように、自分の生活マップを見ていると、生活習慣に関して、いろいろなことが思い出されてくる。

いつの間にか、生活全体をふりかえり、考え始めることができる。





2 生活マップ の作り方

(生活習慣とその感じ方をマップにする方法)



2-1.生活習慣をラベルにする















あなたの主な生活習慣をラベルにします。

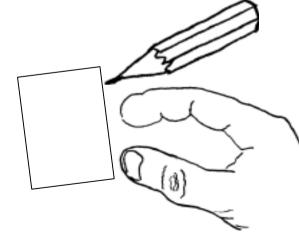










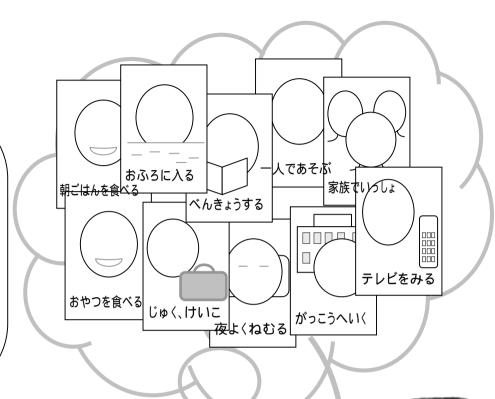


2-2. 横にならべる

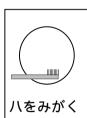
まず横にラベルをならべます。

いちばん好きなものを、
右はし「だいすき」のところに、

いちばん好きではないものを、 左はし「あまりすきじゃない」 のところに。







ともだちとあそぶ

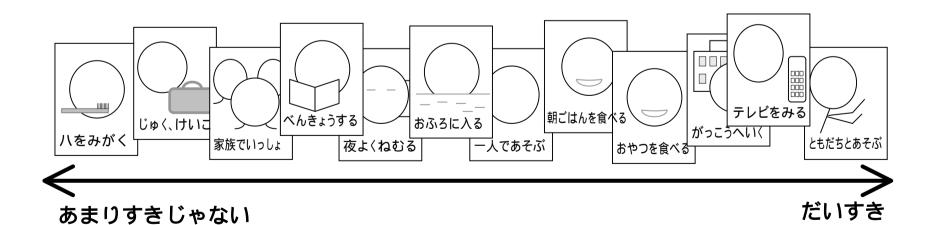


あまりすきじゃない

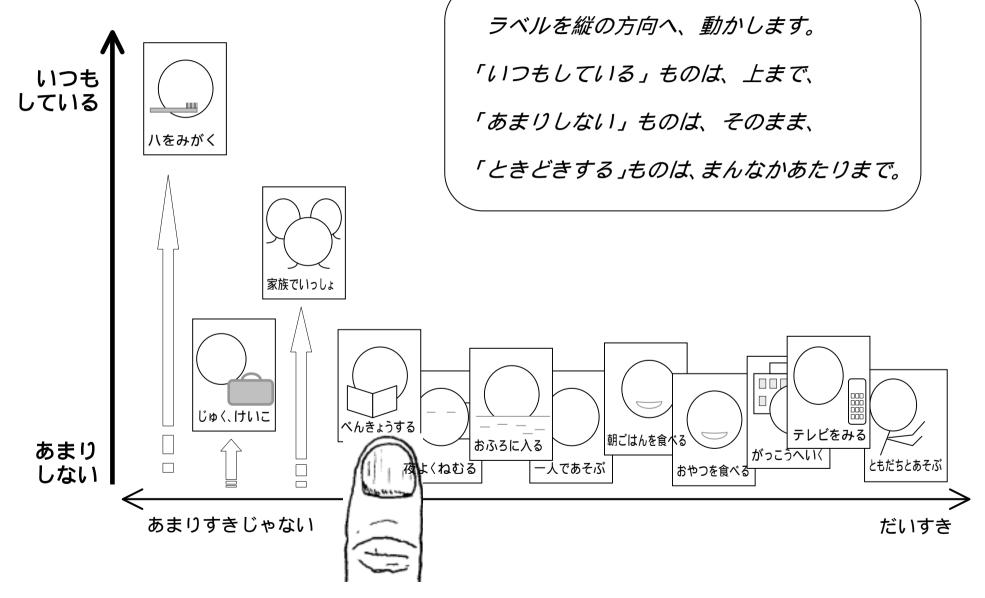
だいすき

2-3. 横にならべる、続き

横の両はしが決まったら、間にもラベルをならべます。
" あまりすきじゃないもの " は左がわに、" すきなもの " は右がわに。
横一列に、ならんだかな。

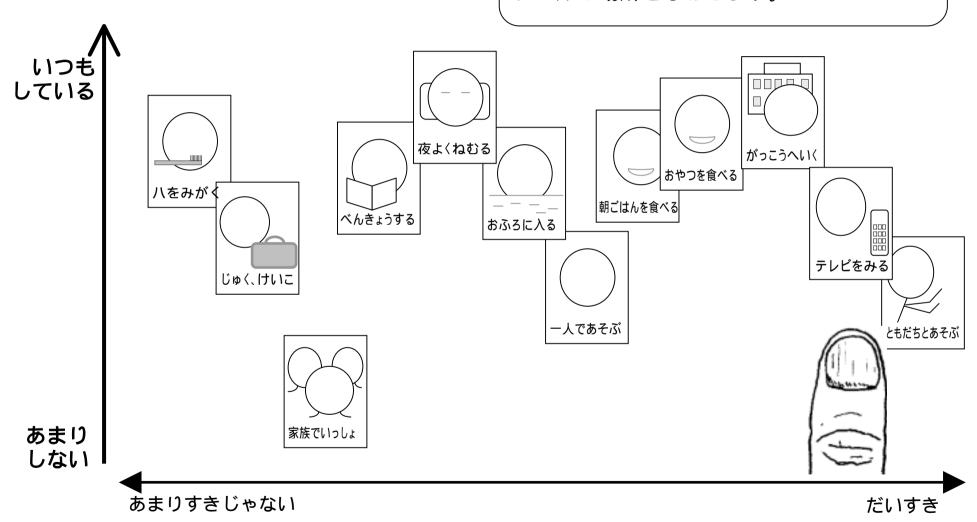


2-4.縦に動かす



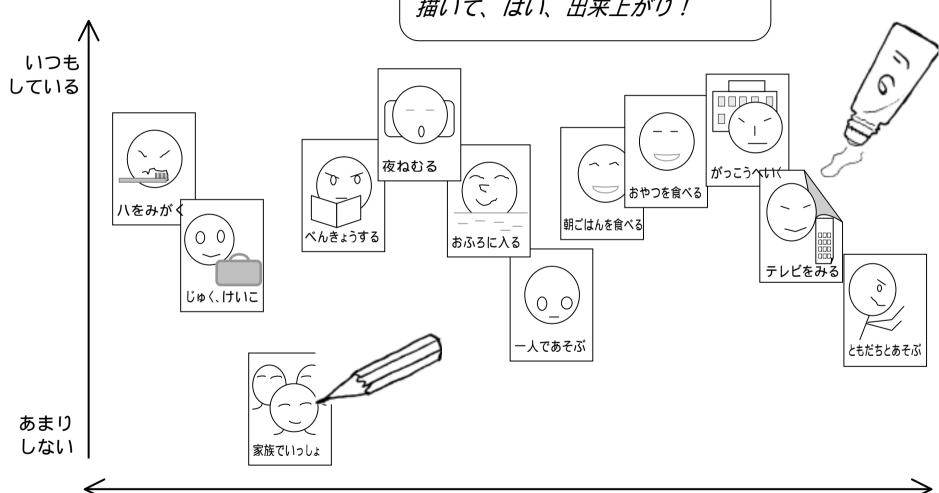
2-5.縦に動かす、続き

全体を見て、おちつかないところがあれば、 ラベルの場所をなおします。



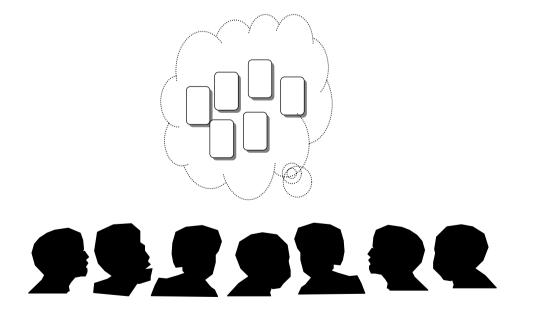
2-6.マップの完成

ラベルをのりづけし、ラベルに顔を 描いて、はい、出来上がり!



あまりすきじゃない

だいすき



生活マップの見方



3-1.正しいマップってあるの?

生活マップに、正しいもの、まち がっているもの、の区別は、ないん だよ。

あなたが、自分で考えて作ったマップは、世界に一つしかありません。 あなたらしいマップを、大切にしよう。

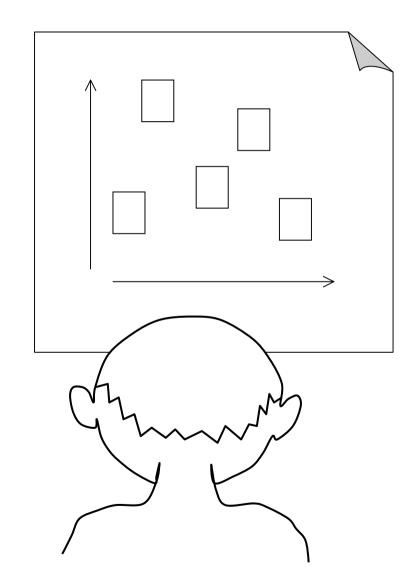


3-2.マップ全体を自由にながめる

マップができあがったら、ま ずマップを、あなたが好きなよ うに、ながめてみよう。

どこから、どのように、見は じめてもかまわない。

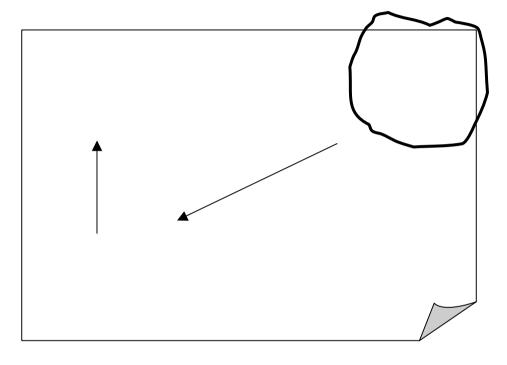
何か、気づいたことがあれば、 声に出してみよう。



3-3.マップの四つの場所を、ながめる

今度は、マップの四つの場所 を見てみよう。

まず、1番目の場所、右上だ。 ここには、どんなラベルが、何 枚くらいあるだろうか。ラベル の顔は、どんな顔だろうか。



同じようにして、2番目の場所、3番目の場所、4番目の場所、と見ていくよ。

どんなことでも、気づいたことがあれば、声に出してみよう。

3-4. 過去に向かって、考える

今度は、過去に向かって、考えてみよう。

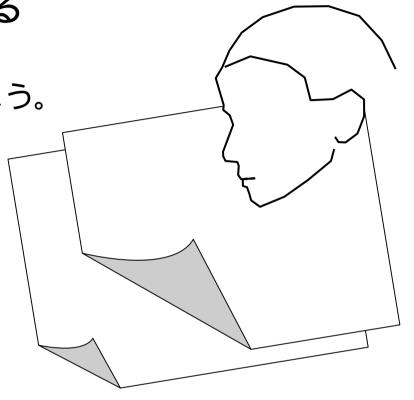
一週間前にマップを作ったとして、 同じようなマップになっただろうか。

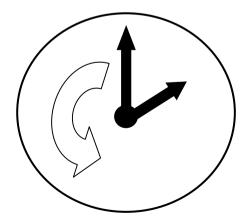
1ヶ月前だったら、どうだろうか。

半年前だったら、どうだろうか。

一年前だったら、どうだろうか。

どこかで、生活習慣が大きく変わったときが、 あるだろうか。変わったとすれば、なぜだろ うか。



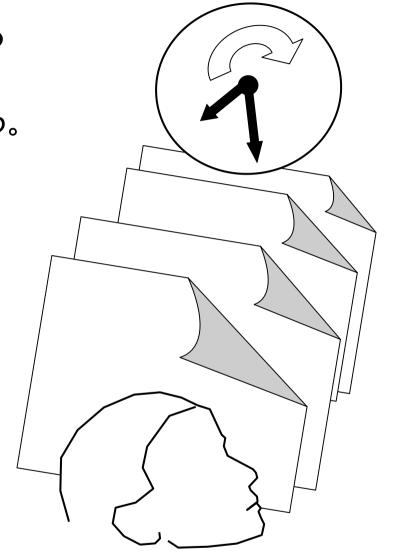


3-5. 未来に向かって、考える

今度は、未来にむかって、考えてみよう。

これから一週間先にマップを作った として、どんなマップになるだろうか。 今日のマップと同じだろうか。それと も、違うだろうか。

- ーヶ月先だったら、どうだろうか。 半年先だったら、どうだろうか。
- 一年後、二年後はどうだろうか。 将来、どんな生活習慣だったらいい と考えるだろうか。



4 生活マップを使って、 話し考えることを 身につけよう



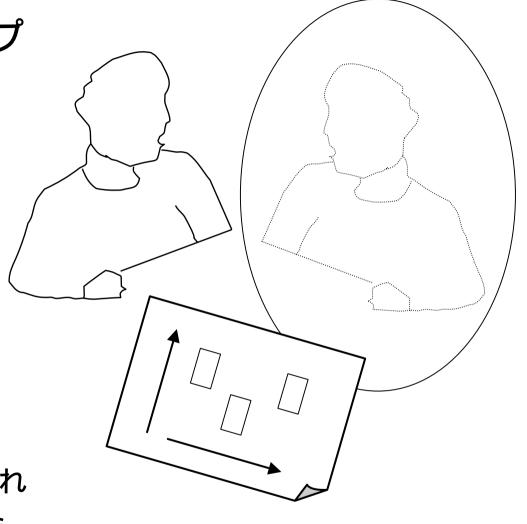
4-1. 自分の生活マップ

自分の生活マップをよく 見てみよう。マップを手が かりに、朝起きてから夜寝 るまでの一日を、いろいろ と思い出してみよう。

どんな感じがするだろうか。

何がわかるだろうか。

何かが感じられたり、考えられ たりしたら、声に出してみよう。

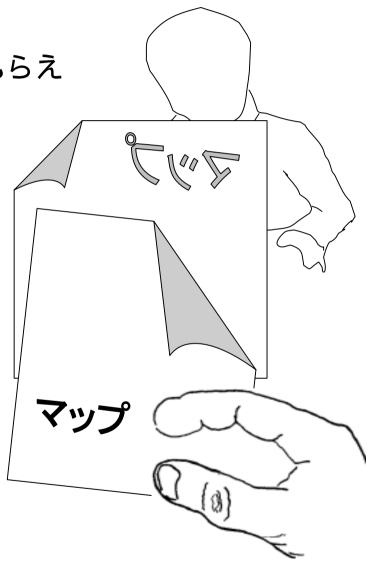


4-2.友だちの生活マップ

周囲を見回して、もしマップを見せてもらえ そうな人がいれば、見せてもらおう。

同時にあなたのマップを、その人に 見せてあげよう。

見せたくない人もいるかもしれない。 互いに見せ合うことは、無理にしない欲 しい。でも、できそうであれば、ぜひ見 せてもらおう。友だちとマップを見せ合 えると、新しい考えが生まれてくる。



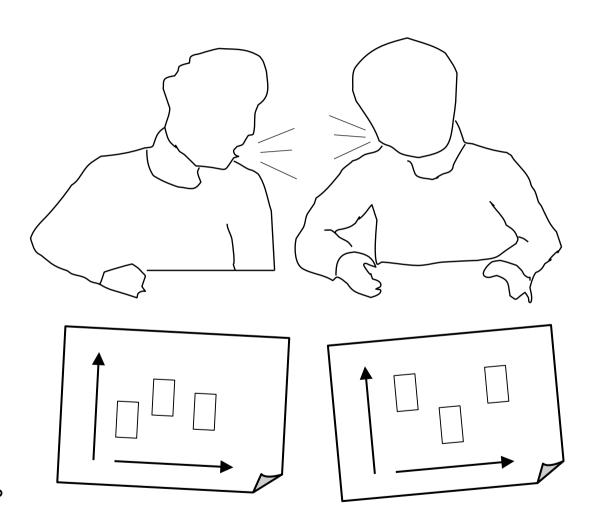
4-3.友だちの生活マップ、つづき

友だちの生活マップは どのようだろうか。

あなたのマップと似て いるだろうか。違うだろ うか。

何か思い浮かんだこと があれば、声に出してみ よう。

お互いに質問してみよう。

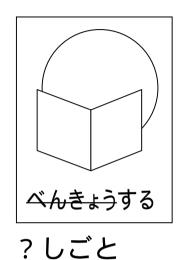


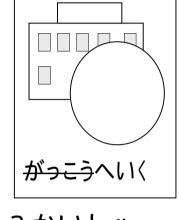
4-4.おとなの人たちのマップ

もっと多くの人に、子ども だけでなく、おとなにもマッ プを作ってもらうには、どう したらいいだろうか?

まず、その人の一日につい て、話を聞こう。

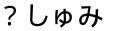
その人のことが、わかった ら、その人の生活習慣にあっ たラベルを作ってみよう。

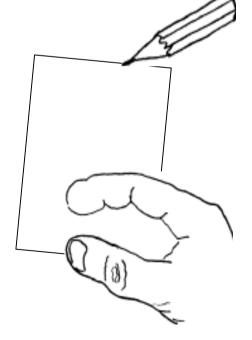




?かいしゃ



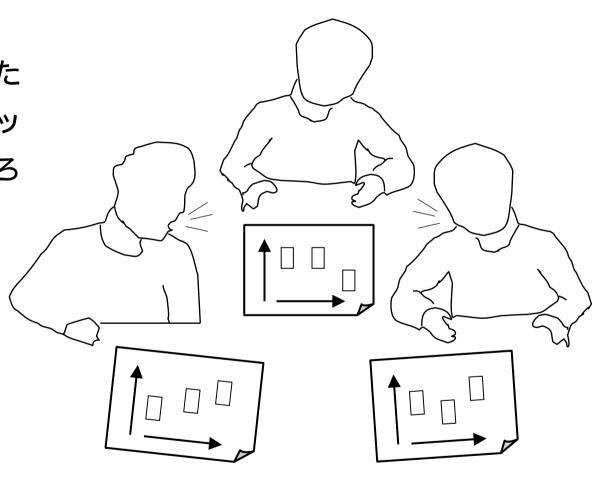




4-5.いろいろな人の、いろいろなマップ

家族や近所など、あなた の周囲の人々の生活マッ プは、どうなっているだろ うか。

いろいろな人に生活 マップを作ってもらい、 その人と話してみよう。



5 いい生活習慣って何だろうか。 対話の中で 考え続け、学び続ける。



5-1.自分らしさ、その人らしさを見つける

人の生活習慣は、似ているけど、みんな少しずつ違っている。

いろいろな人に生活マップをつくってもらい、その人らしい生活習慣の考え方を教えてもらおう。

その人らしさ、特にその人の生活習慣のくふうしているところを、たくさん見つけてみよう。それから、また自分らしさについても、考えてみよう。 *(*



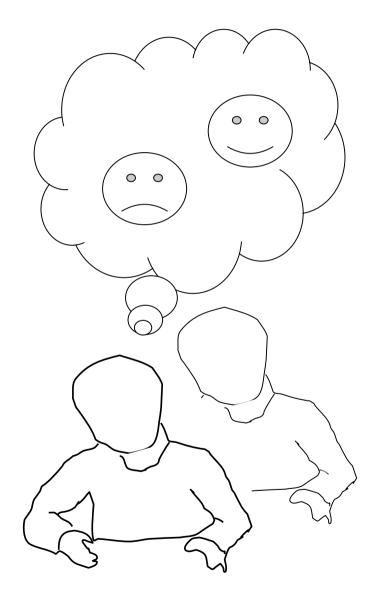
5-2.もっとその人らしく、もっと良くなれるように

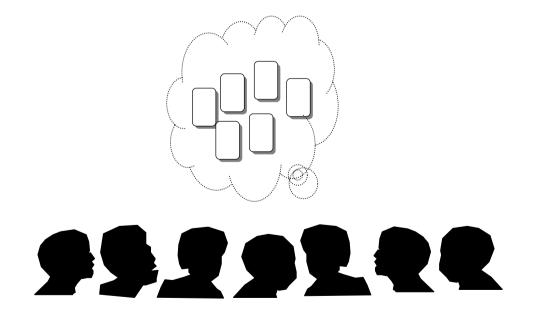
君のまわりの人は、どのように生活したい、 と思っているだろうか。

いろいろな人と友だちになり、いっしょに 生活マップをつくり、考えてみよう。

他の人が生活について考えたい、と思っているなら、マップを作り、考えることを、助けてあげよう。

君がその人から学ぶなら、その人も君から 学び始める。





おわりに

この冊子は、文部科学省スポーツ・青少年局、学校健康教育課が組織した「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査研究協力者会議」での議論を踏まえて、作成されました。

対話の中でなされる「生活イメージを目に見える形にする方法」の原理に関しては、1999年6月24日 の研究協力者会議の場で説明しました。

ワーキンググループでの検討が進む中での実践は、清水 肇 委員の協力のもとに、静岡県小笠郡浜岡町・町立浜岡中学校 2 年 2 組で 1999 年 10 月 20 日の二校時目 (9 時 30 分 ~ 10 時 20 分) に行いました。

静岡における上記実践での迅速分析結果は 1999 年 10 月 26 日の第三回ワーキンググループ検討会で報告しました。この冊子は、上述した経緯での討論と実践経験を反映しています。

「児童生徒の心の健康と生活習慣に関する調査報告書」は2002年3月に刊行されました。

この冊子が上記報告書の最後(60 ペ-ジ)で指摘された二つの課題、「(1)発達に伴う心の健康と生活習慣に関する顕在化; (2)子ども個々人の育成につながる対話的・事例的方法の考案」に対し、答えを出そうとする試みの一つとして、位置づけられることを願うものです。

生活マップ

生活習慣の実際に気づき、生活と心のあり方を学ぶ

非売品(方法の試行・検証・普及に向けて) 無断転載を禁ず

2002年9月2日 第1.0版1刷発行

著 者 守山正樹

発行所 福岡大学医学部公衆衛生学教室

〒814 - 0180 福岡市城南区七隈 7 丁目 45 - 1

TEL 092 - 801 - 1011 内線 3310 FAX 092 - 863 - 8892

http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/p_health/index-j.htm

印刷 城島印刷有限会社(福岡市中央区)

I SBN4-901961-01-2 Printed in Japan

